

Q19.このガイドの悪かった点をお書きください。

Q19

入門書となっているが、ある程度理解している人（中級以上）向けではないか？  
 PAの関連図の中にはちょっとわかりづらいものもあったかなと思います。  
 一部、説明が不足しているところや、難しいと感じるところがありました。もう少し例を多くして入門書としては、若干難しいような気がします。 CMMIの全体像やPAの概要についてもう少し噛み砕いた抽象的な表現での説明が多く、具体的なイメージがつかめなかった。 PA間の関連についての説明内容にばらつきがある。解説の詳細度や、例の有無など。例は出来る限り加えた方がよいとおもうCMMIの構造（PA、GP、GGの関係）が分かりにくい。  
 PAの説明に図を用いて解析した方が良い。文字中心では”やさしく”ない。  
 説明がもう一段詳細化して欲しい。図が欲しい。やさしくない。  
 ・3.1～3.7まで、図しかなく、どう言った特徴があるのかまた、BasicとAdvancedと相違点などの説明IPPDの説明がなかった。やや、誤字・脱字が多い。BasicからAdvanceに移行するにはどのように取CMMとの違いを「ハードウェア開発プロセスとの融合」と聞いていたがどうなのでしょう。 GPページ数が多くて読むのに飽きてる。Power Pointなどの資料があると読みやすいと思う。最終アセスメント・CMM(SW-CMM V1.1)との違いやCMMIの位置付け、経緯などの概要説明が欲しいと思いました。  
 PA関連図は読みにくい。 CMMを多少理解している人向けの記述である。（対象に記載すべき）  
 「正しく理解してほしいキーワード」は、そのキーワードが出現した位置に注釈として記述してく  
 ・3章（SE/SW/IPPD/SS）の説明がほしい。 ・3章のPAの全てのPAに日本語がほしい。  
 ・非常に読みづらい。本書は誰を対象に何を理解させようと意図したものか読みとれない。 著者の意図が読みとれない。  
 このガイドが「やさしい」ということは...CMMIの書籍はもっと難しい、もしくは理解しにくい内容が多い。  
 このガイドをもとに各会社で理解する上で、少なからず時間が必要と思いました。 ・各GPを実践するPA等の組織間の関連図において、 線の線が円弧であったり、直線であったりした。 スプライン活動事例が記述されておらず、各PAとも具体的にどのような活動を求めているのかが理解しづらい。  
 逆に、深さが無さ過ぎるため、曲解・誤解を招く危険性も感じる。解り難い文章表現が目につく。  
 日本語として理解しづらい部分がある。 誤字脱字がある。 CMMIをある程度理解していれば読め  
 もう少し、図を多様して分かりやすくして欲しい。 各PAに関わる人（部門）等が把握できる内容  
 ・日本語が翻訳調で理解しづらい。 ・用語の説明に終始していて、結局CMMIとは何か、どのような用語の意味が難しく、理解しがたい箇所が多い。 図・表などビジュアル表現が少ない。 プロジェクト  
 「やさしい」との表題や、「1. はじめに」の内容からして、CMMの全体概略を簡単に説明してPAの関連図が見にくいと思います。本資料で取り上げないPAなどについて、なぜ取り上げない  
 関連図の中の言葉が短いのか、後述の詳細説明と結び付けられない。  
 全体として非常に読みやすかったが、冒頭のPA関連図だけでなく、個々のPAに対しても図表を全体を掴むこと（CMMにおけるTR24のような思想面）がなく、いきなり各論と感じた。 なじみの直訳ではなく、わかり易い文書になると、もっと短時間に理解できると思う。ただ、他の書籍も、すべてのプロセスが記載されていない（記載のプロセスで私は十分ですが）

